

平成 29 年第 1 回協議会（6 月 23 日 15 : 30 ～ 17 : 10）

Q： 新聞に文化会館の長寿命化計画についての記載があったが、図書館も改修計画の中に含まれているのか

A： 文化会館建築物としての改修計画であり、図書館そのものの改修は含まれない。

Q： 施設が老朽化していることに加え、図書館の絨毯の色が暗緑色で、全体に薄暗い感じがする。

A： 改修計画の中で、絨毯の取り換えについても提言したい。

Q： 石川県立図書館や野々市市図書館など、県内では図書館の新・改築がすすんでおり、平成 30 年に珠洲市立図書館が新築されると、その時点で内灘町の図書館が県内一古い図書館になる。図書館は住民の知の拠点であり、生涯学習の核となる施設である。内灘町でも新・改築計画を立てる時期にきていると考えるが。

A： 古い図書館にはそれなりの良さもあると考えている。内灘町の図書館は、床面積が狭いため書架がこれ以上設置できず本が山積みになっている書棚もある。また、書庫が飽和状態で、本の入れ替えがスムーズにできない状態である。

施設が 2 階にあるため、高齢の方からは使いづらいという声も出ており、そういった点からは、図書館の新・改修計画は喫緊の課題ではないかと認識している。

Q： 最近では、駅舎に併設した事例や、他団体との複合施設として相乗効果を狙った図書館が多い。新・改修計画を立てるとき、そういった他自治体の事例も参考にしたら良いのでは。

A： 図書館単体で建てるより複合施設の方が補助金の面でも、また利用者の利便性という点でも有利。今後の図書館の在り方として大変参考になる。

Q： 来館者が減少傾向にあるが、以前あったような喫茶コーナーは復活しないのか。

A： 今のところ予定はない。

Q： 内灘町の図書館は小説など読み物が充実しており、人気本も借りやすい。金沢市の図書館より利用しやすいと思う。津幡町の図書館は色々なパンフレットが充実しており、資料も多いように思うが。

A： 内灘町も資料は多く揃えていると思うが、もっと特色を打ち出すよう工夫をする。

Q： 学校図書館の利用状況は？

A： 中学校ではノベライズ本がよく借りられている。休み時間が短いので生徒は行列になって借りている。フィクションや、お菓子の本、ペットの本などが人気だ。

Q： 図書の検索で漢字が一文字違っていたり、ひらがな交じりだと検索できないことがある。システムが新しくなると改善されるのか。

A： 確認する。(漢字・かな交じり、キーワードの組み合わせ、いずれも可・確認済)

Q： 新システムでは、蔵書約12万冊はすべて検索できるのか。

A： 可能。

Q： 土曜わくわく教室は申し込みがないので開催しないということか。

A： 6回の講座でおはなし会のコツを習得し、最終回には保育所や老人施設でおはなし会の実地体験をするプログラムとしたが、不人気で申込みはゼロであった。スポーツや将棋は人気があり申込みが多かったようである。来年は魅力的な教室になるよう工夫したい。

Q： 調べる学習のセミナーは子ども対象だが、先生対象の講座はないのか。

A： 去年は図書担当教諭と学校司書を対象に実施した。今年は親子対象とし、保護者の方にも理解を深めてもらいたいと考えている。

Q： 他県の新しい図書館では雑誌スポンサーが多くあった。内灘町の現状は？

A： 今年度初めに一件の問い合わせがあったが、今のところ新規申し込みはない。

Q： 図書館の新・改築は、この協議会の総意として町に要望する。町はこれまでスポーツ施設を多く作ってきたが、これからの社会では、町づくり・生涯学習の拠点として、図書館の果たす役割はこれまで以上に大きくなる。この協議会でも他自治体の図書館を視察してきたが、図書館と他施設を組み合わせることで大きな相乗効果を果たしている例を目にしてきた。

こういったことを町にきちんと伝えていきたい。

A： 協議会の意向はホームページなどでも公表し町に伝える。

